

環境対応型塗料

2液型水性アクリルエマルジョン塗料

# 2液型 水性フローアール用

安全

低臭

無鉛

無黄変

変色しにくくラインもくっきり

(社)日本塗料工業会登録 <http://www.toryo.or.jp>

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
商 品 名	2液型 水性フローアール用
登 録 番 号	G01365

文部科学省 学校環境衛生基準適合品

厚生労働省 有害化学物質 13 物質含有なし

東京都環境局 子どもガイドライン対応

- 3回塗りで光沢感、肉持ち感、透明性を実現できます。
- 耐ラバーマーク性、耐摩耗性に優れ、高光沢が持続します。
- 耐擦り傷性、耐久性が特に要求されるスポーツ競技施設に最適です。

ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・クロルピリホス・エチルベンゼン・スチレン等、厚生労働省が定める13物質は使用していません。

適度なノンスリップ性と弾力性があり、すべりにくく足に負担をかけません！

GEN GEN

## 特長

- 2液型水性アクリルエマルジョン
- 3回塗りで高光沢、肉もち感を得ることができます。
- 高物性型水系上塗り塗料で透明性に優れる。
- 刷毛塗り、アプリケーションでの作業性が良い。
- 適度なノンスリップ性と弾力性があり、すべりにくく足に負担をかけません。
- 密着性、耐摩耗性、乾燥性、耐久性などに優れる。

## 用途

体育館、学校の教室等の木質フローリング  
バレエスタジオ、一般住宅の木床面

## 荷姿

主剤：SC-39 16Kg / 4Kg 硬化剤：SB-93 800g / 200g

品番	SC-39 (硬化剤：SB-93)	
標準配合比 (20℃)	SC-39	100
	SB-93	5
	水	0 ~ 10
可使時間 (20℃)	8時間 (※)	
塗布量	80 ~ 100 g / m <sup>2</sup> (希釈剤を含む配合塗料 1回塗りあたり)	
乾燥時間 (20℃)	指触乾燥	20 ~ 30分
	硬化乾燥	24時間以上

※可使時間は増粘により作業性が悪くなる時間を目安しております。  
また可使時間を越えた塗料を使用すると塗膜欠陥を生じることがあります。

## 塗装工程 標準・一般3回塗り仕様 教室・一般床等

標準 / 一般用	品番 / 塗料名	塗布量 (g / m <sup>2</sup> / 回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)
1 素地調整	ドラムサンダー (P24 ~ P100) 及びポリッシャー (P120 ~ P150) で研磨 全面平滑後除塵		
2 下塗り	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	8時間以上
3 研磨	ポリッシャー研磨 P100 ~ P120 で全面平滑にする		
4 中塗り	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	8時間以上
5 研磨	ポリッシャー研磨 P120 ~ P180 で全面平滑にする		
6 上塗り	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	24時間以上

## 塗装工程 高耐久性4回塗り仕様 体育館・スポーツフロア等

建築用 / 体育館用	品番 / 塗料名	塗布量 (g / m <sup>2</sup> / 回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)
1 素地調整	ドラムサンダー (P24 ~ P100) 及びポリッシャー (P120 ~ P150) で研磨 全面平滑後除塵		
2 下塗り	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	8時間以上
3 研磨	ポリッシャー研磨 P100 ~ P120 で全面平滑にする		
4 中塗り①	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	8時間以上
5 研磨	ポリッシャー研磨 P120 ~ P180 で全面平滑にする		
6 中塗り②	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	8時間以上
7 研磨	ポリッシャー研磨 P120 ~ P180 で全面平滑にする		
8 ライン塗装	ライン用塗料各種		
9 上塗り	SC-39 (2液型 水性フローアール)	80 ~ 100	24時間以上

- 塗替えの場合には、旧塗膜を取り除いた後に塗装を行って下さい。旧塗膜が残っている場合、密着が悪くなる事があります。
- 体育館などのスポーツ施設などでのご使用の場合には、上塗り塗装後1週間以上の養生をして下さい。
- 塗布量については1回塗りの目安として下さい。

## 注意事項

- ① 塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。(凍結しない場所)
- ② ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。
- ③ 塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意ください。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。  
※塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。
- ④ 塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。
- ⑤ 5℃以下または湿度80%以上の塗装は避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります)
- ⑥ 塗装時に使用した道具は、水または温水石鹸で洗浄して下さい。
- ⑦ どのような場合でも換気に十分注意して下さい。
- ⑧ 決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。
- ⑨ 目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。
- ⑩ 皮膚についた場合には、石鹸で水洗いして下さい。
- ⑪ 初めに本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。
- ⑫ 他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。
- ⑬ 製品の取り扱いに当たっては、安全データシート (SDS) に従って下さい。

## 施工上の注意事項

- ① 攪拌は、ハンドミキサー等による機械攪拌を推奨します。その際に泡の巻きこみのないよう注意し、均一に混ぜてください。
- ② 主剤に硬化剤を混合後、可使時間 (8時間 / 20℃) を過ぎた塗料は使用しないで下さい。高温時 (液温が高い場合) は可使時間が短くなるのでご注意ください。
- ③ 高温度・低温時は乾燥が遅くなるので、翌日は換気を十分に行ってください。
- ④ 気温が5℃以下の場合には、塗装を避けて下さい。また乾燥中も5℃を下回らないようにご注意ください。
- ⑤ 塗料の貯蔵については5℃以上、35℃以下で保存して下さい。
- ⑥ 塗料及び洗浄した水道水の処分は、産業廃棄物として処理して下さい。

## 廃棄方法

- 少量の場合には、吸収剤 (新聞紙等) に染み込ませて乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。
- 量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。
- 水路や下水道には流さないで下さい。